



野生植物研究所だより



● 庭のフクジュソウ ●

新聞にも、春の訪れを知らせる記事が載るようになりました。フキノトウが出てきたとか、フクジュソウが咲き始めたとか、また、丸森町のザゼンソウの写真が載るなど、連日のように春のニュースが飛び込んできます。研究所の庭にも春を告げるフクジュソウが咲きました。庭のサツキのそばにあるフクジュソウに西日が当たって、とてもキレイに咲いていました。花の状態から見て、2月20日前後に咲き始めたのではないかと思います。



フクジュソウ

● 咲き始めた早春の草花 ●

朝晩はまだかなり冷え込むものの、日中は暖かい日が続くようになり、雪解けも間近と感じられます。2月21日の朝、研究所周辺の道端や畑などの植物を観察してみたところ、いろいろな種類の草花が花を咲かせていました。

【オオイヌノフグリ ゴマノハグサ科】 瑠璃色の鮮やかな目立つキレイな花を沢山つけていました。



オオイヌノフグリ



セイヨウタンポポ

【セイヨウタンポポ キク科】

1年を通して花が見られる植物ですが宮城県では、秋、雪が降り出す頃になると、いったん花が咲かない状態になります。雪が解け、暖くなる2月頃から、また、花が見られるようになります。

【ノボロギク キク科】 葉がシュン

ギクによく似た植物で、花はシュンギクの黄色い花の花弁をとって筒状のものだけになったような花です。荒地や畑などに普通に見られる植物です。

【ヒメオドリコソウ シソ科】 茎の四角いシソ科の植物です。花は2月頃から見られ、シソの花によく似た桃色の小さい花を沢山つけます。今回見られた花は、昨年秋早くに芽を出し成長したもので、秋にも花が見られたものです。一般的にはこれから成長し、3月末から4月にかけて花が咲き出すものが多いようです。

【ハコベ ナデシコ科】 ハコベは、小鳥やワトリの餌としてもよく使われている植物です。畑などにかなりの量があり、花も沢山見

れました。ハコベの花弁の枚数を上から覗いて数えてみると10枚と数えてしまいます。誰が見ても10枚に見えるのですが、花弁を外してみると“5枚”であるということがすぐ分かります。それは、1枚の花弁が深くくびれて、あたかも2枚のように見えるからです。皆さんもぜひ、ハコベの花弁を観察してみてください。



ヒメオドリコソウ



ハコベ

他に、イネ科のスズメノカタビラも咲いていました。もうすぐ花が咲きそうなアブラナ科のタネツケバナもありました。同じくアブラナ科で七草の一つであるナズナの花も、もう咲いています。

これから春に向かって、いろいろな花が咲き出します。みなさんも外に出て、いろいろな花を見つけて楽しんでみてはいかがでしょうか。また、いつ、どんな種類の花が見られたかを記録して、「花暦」を作ってみるのも面白いと思います。

【連絡先】 〒989-6252 宮城県古川市荒谷字箕ノ子町 12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/>

E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>